

平成 25 年度玉依会本部事業報告書

1. 役員

理事 7名（任期：平成 24 年 9 月 23 日～平成 26 年 9 月 22 日）

監事 2名（任期：平成 24 年 9 月 23 日～平成 26 年 9 月 22 日）

2. 評議員

評議員 15名（任期：平成 24 年 9 月 23 日～平成 26 年 9 月 22 日）

3. 理事会

第 1 回（5 月 28 日）	第 1 号議案	平成 24 年度事業報告
	第 2 号議案	平成 24 年度決算について
第 2 回（8 月 29 日）	第 1 号議案	平成 25 年度予算について
	第 2 号議案	施設（保育園）変更について
第 3 回（12 月 26 日）	第 1 号議案	平成 25 年度補正予算（案）について
	第 2 号議案	新会計基準移行と新経理規程について
第 4 回（3 月 27 日）	第 1 号議案	平成 25 年度補正予算（案）について
	第 2 号議案	平成 26 年度事業計画（案）について
	第 3 号議案	平成 26 年度予算（案）について

4. 評議委員会

第 1 回（5 月 28 日）	第 1 号議案	平成 24 年度事業報告
	第 2 号議案	平成 24 年度決算について
第 2 回（8 月 29 日）	第 1 号議案	平成 25 年度予算について
	第 2 号議案	施設（保育園）変更について
第 3 回（12 月 26 日）	第 1 号議案	平成 25 年度補正予算（案）について
	第 2 号議案	新会計基準移行と新経理規程について
第 4 回（3 月 27 日）	第 1 号議案	平成 25 年度補正予算（案）について
	第 2 号議案	平成 26 年度事業計画（案）について
	第 3 号議案	平成 26 年度予算（案）について

5. 役員研修

役員の内外部研修及び外部研修は、行っていない。

6. 内部経理監査

平成 25 年 5 月 20 日、なの花保育園副園長、なの花保育園主任保育士が実施

以上

平成 25 年度「なの花保育園」事業報告書

1. 保育園の運営

(1) 定員 90 名

(2) 年齢別入所児童数（推移）

4 月 1 日当初			年度末		
クラス名	年齢	園児数	クラス名	年齢	園児数
いちご	0 歳児	4	いちご	0 歳児	15
さくらんぼ	1 歳児	17	さくらんぼ	1 歳児	17
りんご	2 歳児	19	りんご	2 歳児	19
たんぼぼ	3 歳児	18	たんぼぼ	3 歳児	17
すみれ	4 歳児	21	すみれ	4 歳児	20
	5 歳児	13		5 歳児	13
計		92	計		101

(3) 職員の異動等

- ① 新規採用 5 名（正規保育士 2 名、臨時保育士 2 名、臨時調理員 1 名）
- ② 途中採用 2 名（パート保育士 1 名、パート調理員 1 名※産休育休代替）
- ③ 退職者 2 名（パート保育士 1 名、パート調理員 1 名※産休育休代替）※契約期間満了の為

(4) 職員会議の開催状況

全職員会議 月 1 回

リーダー会 月 3 回

企画委員会 月 1 回

給食委員会 月 1 回

上記以外に、行事等必要に応じ臨時の職員会を招集

2. 保育の実施状況

(1) 保育の基本理念

子ども達の健やかな成長を願い、愛情と真心をこめて保育を行う。子どもたちの成長の喜びを家族の方や地域の皆さんと共有し夢を持つ子どもを育て、社会に貢献する。

(2) 基本方針

「情緒が安定し、健康で安全に過ごせる生活環境を用意する」

「家庭や地域社会との連携を密にし、家庭教育を補完する」

「本物体験を通し豊かな想像力や表現力を育てる」

(3) 保育目標

「いのちを輝かせ、生き生きと自己を表現し、自らの能力や可能性を発揮し、未来をきり開いていく子どもを育てる」を保育目標とする。

(4) 保育時間

午前7時15分～午後7時15分（平日のみ延長保育時間午後6時15分～7時15分）

(5) 保育内容

- ① 乳児クラスは担当制を取り入れる。子どもの日々の記録を行ない基本的な生活習慣の確立や一人ひとりの成長や個々の発達を促す保育を実施する。
- ② 子どもの命を呼び起こす『土遊び』など、自然との本物体験を通して熱中して遊ぶ力や感性を育てる。体験の中から生まれる活動を大切に喜んで表現をする心を育てる。
- ③ 花や野菜を植えたり小動物を飼育することにより、成長の様子を観察したり愛着心が備わった。
- ④ プール遊びを積極的に行い、水への恐怖心を無くし水遊びを楽しむことができた。
- ⑤ ヒップホップ（月1回）、創作ミュージカルなどの音楽活動を通して、豊かな情操、機敏な動作、忍耐力を養った。
- ⑥ ちまきづくり、味噌づくり、餅つきなどを体験し食べ物の大切さと日本古来の食文化を学ぶことができた。
- ⑦ 花や野菜を育てたり、小動物を飼育したりすることで命の大切さに気づかせる体験をした。
- ⑧ ストーリーテリングおはなしタムタム（月1回）を通じて、聞く姿勢と物語の楽しさを学んだ。
- ⑨ 「安心」「安全」「おいしい」をテーマにした給食を実施する。育てた野菜を使いクッキングなどを通して『食』の大切さを伝えることができた。

※具体的な保育内容については、「年間指導計画」にもとづき、「月案」「週案」にまとめる。

(6) 外部講師、招待状況

内容	講師・招待	回数（年間）
ちまきづくり指導	岸野照子先生	1回
ヒップホップダンス	NON（門脇のぞみ先生）	12回
ストーリーテリング おはなしタムタム	北郷素子先生	10回
陶芸製作	飯島三枝子先生	1回
人形劇	だいこん座	1回

音楽コンサート	メロディーボックス	1回
キッズサッカー教室	島根サッカー協会	3回

(7) 実施した特別保育事業

- ① 延長保育促進事業
- ② 一時預かり事業
- ③ 世代間交流活動支援事業
- ④ 異年代・異校種等交流活動支援事業
- ⑤ 子育て講座事業

(8) 実施した主な行事

月	行事	備考
4	入園式	
5	保育参観、講演会	保護者会
6	個別面談、内科検診、歯科検診、ちまきづくり、高齢者（やすらぎ里）交流	
7	プール開き、おとまり保育	
8	夏祭り、コスモス劇団（人形劇）	保護者会
9	親子遠足、高齢者（やすらぎ里）交流、不審者対応訓練	
10	運動会、高齢者（やすらぎ里）交流、サッカー教室	
11	造形・遊び展、高齢者（やすらぎ里）交流、異校種（淞南高校、大庭小）交流	保護者会
12	おもちつき、クリスマス会、手作りおやつ教室、サッカー教室	
1		
2	豆まき、生活発表会、高齢者（やすらぎ里）交流、音楽鑑賞会（メロディーボックス）	
3	おわかれ会、卒園式、人形劇（だいこん座）、サッカー教室	
毎月	誕生会、お弁当の日、おひさまの会（保育所体験）、避難訓練、ピカピカデー（掃除強化日）、おはなしタムタム（ストーリーテリング）、ヒップホップダンス教室	

(9) 職務分担表

別紙

3. 給食・食育の実施状況

- ① 契約農家より厳選したお米（ハデ干し）を仕入れし提供した。また砂糖はてんさい糖を使用するなど調味料にもこだわった。
- ② アレルギー体質の子どもには、アレルギー除去食依頼書を提出していただき、家庭と連絡を

取り合いながら除去食で対応した。

- ③ 献立には旬の野菜や食材を取り入れた。
- ④ 保護者会と連携し、体にやさしいおやつ作りを経験する。
- ⑤ 玄米ごはんを取り入れ、栄養バランスと咀嚼力を鍛えた。
- ⑥ 毎日給食の献立を展示し、保護者様から意見を聞けるようにした。また、要望があればレシピを公開した。
- ⑦ おもちつき、笹巻づくり、花餅づくりを通じて、日本古来の食文化を学んだ。

(1) 乳児

家庭での離乳食の進行状況にあわせて進めていった。また栄養士と連携し離乳食の進め方の指導を行った。

(2) 1～2 歳児

完全給食に加え、9 時と 15 時におやつを実施。おやつは手作り。

(3) 3 歳児

完全給食と 15 時におやつを実施。保育園で栽培した野菜などをクラスで調理し、食事づくりの大変さを体験した。

(4) 4～5 歳児

完全給食と 15 時におやつを実施。保育園で栽培した野菜などをクラスで調理し、食事づくりの大変さを体験した。

(5) 延長保育児を対象におやつを提供した。

4. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科

年 2 回（6 月、2 月）保育所嘱託医（嘉戸小児科医院）による健康診断を実施。

② 歯科

6 月に保育所嘱託医（浜田歯科医院）による検診を実施。また健診後、3 歳児以上にブラッシング指導を実施していただいた。

③ 各種検査

6 月に蟯虫卵検査、検尿検査を実施。

(2) 職員

① 定期健康診断

島根県環境保険公社にて、全職員を対象に健康診断を実施

② 検便

乳児室に関わる先生、調理員は毎月「赤痢菌、サルモネラ菌、O-157」の検査を実施。9月から1月にかけては、検査内容を強化した。また一般職員に関しては、年2回同様の検査を行った。

5. 施設管理

(1) 園舎内外のおもな備品・補修・整備（軽微なものを除く）

年月日	資産の種類	名称	取得価格	備考
平成 25 年 4 月 30 日		折りたたみテーブル 5 台	212,500 円	器具什器
平成 25 年 4 月 30 日		子供用椅子 10 脚	119,000 円	器具什器
平成 25 年 5 月 31 日		折りたたみテーブル 3 台	127,500 円	器具什器
平成 25 年 5 月 31 日		園庭日よけ工事	45,000 円	器具什器
平成 25 年 10 月 31 日		プール周囲敷設用人工芝	39,900 円	器具什器
平成 25 年 11 月 25 日		ハイローベッドチェアー 2 台	29,158 円	器具什器
平成 25 年 12 月 31 日		画用紙整理棚 20 段	30,450 円	器具什器
平成 26 年 2 月 7 日		避難袋 6 袋	63,000 円	器具什器

平成 26 年 3 月 31 日	固定資産	収容に伴う門扉前駐車場 塗装工事	△78,908 円	売却損
平成 26 年 3 月 31 日	固定資産	収容に伴う職員駐車場塗 装工事	△78,153 円	売却損

(2) 災害対策

- ① 避難訓練（月 1 回）
- ② 通報訓練（年 1 回）
- ③ 防火設備保守点検（年 2 回）
- ④ 施設安全点検（月 1 回）
- ⑤ 消火訓練（月 1 回、内 1 回は屋内消火栓を使用し放水訓練を実施）

6. 地域団体、施設、住民と実施した交流事業

月日	団体・施設	内容
2 か月に 1 回	やすらぎの里、太陽の里	施設利用者と歌や手遊びなどで交流
11 月	立正大湘南高等学校	保育を通して生徒と子どもたちとの交流
	大庭小学校	町探検

	大庭小学校	クラブ活動
	湖東中学校	職業体験

7. 研修

(1) 職員の外部研修への参加状況

月日	名称	内容	備考
平成 25 年 5 月 20 日	特別コーディネーター～講演合同研修会	「エスコ」における役割と松江市における相談支援体制について	1 名（権代）
平成 25 年 5 月 31 日	保育士現任研修	中堅保育士としての役割を理解し、児童福祉の専門職としての自覚を深める。	1 名（高島）
平成 25 年 5 月 31 日	保育士現任研修（新任コース）	新任保育士等の職員に必要とされる基本的な知識・技術を学ぶ	1 名（松本）
平成 25 年 6 月 11 日、12 日	保育士現任研修（新任コース）	新任保育士等の職員に必要とされる基本的な知識・技術を学ぶ	1 名（神庭）
平成 25 年 6 月 12 日	幼稚園・保育所安全管理研修会	アレルギー疾患と救急体制	1 名（竹間）
平成 25 年 6 月 19 日	幼稚園・保育所安全管理研修会	アレルギー疾患と救急体制	1 名（藤原）
平成 25 年 7 月 4 日	中国地区保育研究大会	地域全体の保育の質の向上に向け、意義や役割の普及	1 名（大筒）
平成 25 年 7 月 10 日～11 日	平成 25 年度保育士現任研修（中堅コース）	児童福祉専門職としての自覚を深める	1 名（高島）
平成 25 年 7 月 13 日	講演会	新しい保育、幼児教育の仕組み	1 名（権代）
平成 25 年 7 月 29 日～30 日	保育 21 世紀セミナー研修	保育の質と保育所機能の向上について	1 名（岸本）
平成 25 年 8 月 2 日	就学前の人権同和教育講座	人権教育	1 名（白川）
平成 25 年 8 月 1 日	松江市保育所（園）・幼稚園・小学校生徒指導主任研修会	松江市保幼小接続カリキュラム	1 名（権代）
平成 25 年 8 月 7 日	幼稚園保育所職員研修会	表現教育	1 名（白川）
平成 25 年 8 月 19 日	保幼小中特別支援学校連絡会	特別支援教育の充実	1 名（白川）
平成 25 年 8 月 21 日	保育所指導的職員研修	保育制度の動向を踏まえた財務管理、労務管理等の資質・能力の改善	
平成 25 年 8 月 28 日	松江市幼稚園、保育所職員研修会	幼児期運動指針に基づき実施された中央研修の伝達講習	1 名（高畑）
平成 25 年 8 月 30 日	給食担当者研修会	保育における給食業務	1 名（藤原）
平成 25 年 10 月 1 日	幼稚園、保育所職員研修会	基本的な生活習慣や健康について考える	1 名（白川）

平成 25 年 10 月 6 日	和食調理研究会	食生活の改善 給食及び食に関する指導	2 名（藤原加本）
平成 25 年 10 月 8 日、9 日	子育て支援担当者研修	育児相談の意義、相談技術	1 名（野村）
平成 25 年 10 月 18 日	その子の力が発揮できる支援		1 名（砂流）
平成 25 年 10 月 26 日	調理担当者研修会	給食運営、給食内容の改善	1 名（井上）
平成 25 年 11 月 5 日	児童虐待アセスメント	児童虐待早期発見、早期対応	1 名（石倉）
平成 25 年 11 月 6 日	乳児保育推進研修会		1 名（長谷川）
平成 25 年 11 月 19 日	スキルアップ講座	保幼小連続カリキュラム	1 名（權代）
平成 25 年 12 月 3 日	感染症と予防接種ワクチン	感染症、重篤な障害	1 名（砂流）
平成 25 年 12 月 10 日	学校におけるアレルギー疾患		1 名（原）
平成 25 年 12 月 12 日、13 日	保育所事故予防研修会		1 名（岸本）
平成 25 年 12 月 17 日、18 日	障がい児保育推進研修		1 名（小島）
平成 26 年 1 月 16 日	保育所幼稚園職員研修	保育記録と保育要録について	2 名（大筒）
平成 26 年 1 月 23 日	保育所幼稚園支援向上	発達課題、特別なニーズのある乳幼児支援	2 名（砂流、權代）

(2) 施設内研修の実施状況

月日	名称	備考
平成 25 年 5 月 24 日	園内研修（こどもの友社末宗氏講義）	
平成 25 年 6 月 6 日	救急法（松江消防署）	
平成 25 年 7 月 26 日	園内保育研修（福島美佐子先生）	
平成 25 年 8 月 28 日	園内保育研修（福島美佐子先生）	
平成 25 年 9 月 18 日	園内研修（こどもの友社末宗氏講義）	
平成 25 年 10 月 30 日	園内保育研修（1 歳児クラス）	小島先生
平成 25 年 11 月 20 日	食育研修会（子育て課飯野先生）	
平成 25 年 12 月 4 日	講話（元昭和女子大教授玄田初榮先生）	
平成 26 年 1 月 15 日	園内保育研修（0 歳児クラス）	長谷川先生
平成 26 年 2 月 13 日	保育指導員訪問指導（2 歳児クラス）	大筒先生

8. その他

(1) 事故報告

平成 25 年度の事故

月日	内容	備考
平成 25 年 4 月 1 日	2 歳児 舌裂傷（保育室）	治癒
平成 25 年 4 月 19 日	4 歳児 頭部裂傷（園外保育）	治癒
平成 25 年 5 月 20 日	4 歳児 右腕骨折（園外保育）	治癒
平成 25 年 6 月 24 日	2 歳児 眉間打撲（保育室）	治癒

平成 25 年 6 月 25 日	3 歳児 額打撲、裂傷（園庭）	治癒
平成 25 年 7 月 19 日	3 歳児 前歯打撲（鉄棒）	治癒
平成 25 年 7 月 19 日	3 歳児 頭部裂傷（園庭）	治癒
平成 25 年 7 月 29 日	職 員 サルモネラ菌 O7 群陽性	治癒
平成 25 年 12 月 11 日	2 歳児 額部裂傷（保育室）	治癒
平成 25 年 12 月 26 日	0 歳児 右目外側裂傷（保育室）	治癒
平成 26 年 2 月 4 日	2 歳児 顔面挫創（園庭）	治癒

(2) 苦情報告

月	内容	対応
平成 25 年 7 月	挨拶ができない職員がいる。「廊下ですれちがっても無視する」といった苦情が松江市子育て課に入る。	職員会議にて挨拶の徹底
平成 26 年 2 月	1 歳児の保護者より、保育所での様子を伝えてもらえないことが多く、保育所でどんな様子だったのか詳しく教えてもらいたい。「自分の子が無視されているような気がする」	連絡ノートの書き方の指導 夕方の合同保育以降の引渡し時、担任以外でも様子が伝えることができる体制を整える

以上

平成 25 年度「遊学館なの花」事業報告書

4. 児童クラブの運営

(5) 定員 30名

(6) 年齢別入所児童数（推移）

4月1日当初		→	年度末	
学年	児童数		学年	児童数
1年	11		1年	11
2年	9		2年	10
3年	6		3年	7
4年	4		4年	4
5年	1		5年	0
	31			32

※長期休業中利用者を含む。

(7) 職員の異動等

職員の新規採用、退職等は無し

(8) 障がいを持つ児童の受入れ

職員1名加配（7月1日より、保育所と兼務していた職員を児童クラブに異動）

5. 保育の実施状況

(10) 保育の基本理念

「一人一人の子どもを心から愛し、大切に育てる」

(11) 基本方針

- ① 「情緒が安定し、健康で安全に過ごせる生活環境を用意する」
- ② 「家庭や地域社会との連携を密にし、家庭教育を補完する」
- ③ 「本物体験を通し豊かな創造力や表現力を育てる」

(12) 保育目標

「よく遊び、よく学ぶ」を保育目標とし、『目指すこども像』を以下のとおりとした

- ① 自学自習できる子
- ② 何事にも進んで参加できる子
- ③ 思いやりのある子

(13) 保育時間

- ① 放課後 ～午後 7 時 15 分 (平日のみ延長保育時間午後 6 時 15 分～7 時 15 分)
- ② 午前 8 時 30 分～午後 7 時 15 分 (平日のみ延長保育時間午後 6 時 15 分～7 時 15 分)

(14) 指導内容

- ① 保育目標を軸に運動、絵画・造形表現を取り入れながら保育のねらいをたてた。
- ② 自然環境を利用し、積極的に園庭、園外保育（散歩、散策）を行い、視野を広げることができた。
- ③ 野菜を植えたり小動物を飼育することにより、成長の様子を観察したり愛着心が備わった。
- ④ プール遊びを積極的に行い、水への恐怖心を無くし水遊びを楽しむことができた。
- ⑤ 平常の宿題や課題を児童クラブにいる時間に終わらせるよう努めた。
- ⑥ 夏休みの学校からの課題や自由研究を、児童クラブでフォローした。
- ⑦ 論語の指導を受ける。指導者の計らいで、孔子の教えを簡単に学ぶことができた。
- ⑧ 園外活動にも積極的に参加。『風土記の丘』の体験事業などを経験した。
- ⑨ ラキューや海外のボードゲームなどを取り入れ、家庭にはない遊びを提供した。

(15) 外部講師の指導状況

指導内容	講師	指導回数（年間）
ヒップホップダンス	NON	1 回
論語指導	めだか論語普及会	10 回
英語教室	池田先生	2 回
歌の会	福島先生	1 回
ゲーム教室	ホワイエピッコリーノ	3 回

6. 給食・食育の実施状況

- ① 児童が育てた野菜でクッキングを実施した。
- ② 給食（長期休業中のみ）では、契約農家より厳選したお米（ハデ干し）を仕入れし提供した。
また砂糖はてんさい糖を使用するなど調味料にもこだわった。
- ③ おやつ等を見学で作ることで、調理する楽しみも学習した。
- ④ そうめん流しなど、屋外で食事を楽しんだ。

9. 健康管理の実施状況

- (3) 児童
保護者様に、児童の健康状態を確認しながら指導に努めた。
- (4) 職員
定期健康診断を環境保険公社にて、健康診断を実施

10. 施設管理

- (3) 災害対策
 - ⑥ 避難訓練（月 1 回）
 - ⑦ 通報訓練（年 1 回）
 - ⑧ 防火設備保守点検（年 2 回）
 - ⑨ 施設安全点検（月 1 回）

11. 研修

- (3) 職員の外部研修への参加状況

月日	名称	備考
6 月	児童厚生員資格取得研修（1 名）	
6 月	救命救急講習（2 名）	松江消防署
12 月	児童厚生員資格取得研修（1 名）	

12. その他

- (ア) 事故報告
特に無し
- (イ) 苦情報告
特に無し

以上